

名古屋大学における COVID-19下での教育/業務ICT支援

2020年12月現在も、引き続きCOVID-19の災禍の下にあり、各大学とも、引き続き感染拡大防止と教育の両立に苦慮している状況下と思います。情報連携推進本部においても、この3月からのICTによる業務のテレワーク化の支援や、この4月からのICTを活用した教育の支援に多くの労力を割いて来ました。本ポスターはその活動をまとめたものです。まだまだ災禍の続く中、各大学における教育/業務支援の改善の参考になればと思います。

教育におけるICT支援

オンライン授業実施に向けた検討を2020年2月末に一早く開始し、授業支援サービスの拡充に取り組みました。

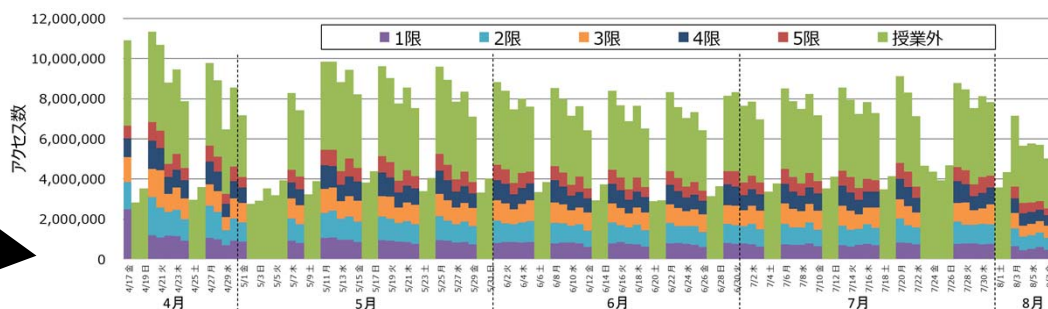
- ・ 2月末 : 教育系部局と協力して**授業実施形態**の検討 ⇒ **データダイエット教材**による**オンデマンド型**推奨
- ・ 3月上旬: **NUCT(名古屋大学LMS)**の**増強**に関する検討 ⇒ **負荷分散機能の強化**および**サーバ増強**など
- ・ 3月下旬: NUCTなどの各種ICT技術の**利用支援** ⇒ **説明資料の拡充**および**オンライン講習会**の実施など
- ・ 4月上旬: オンライン授業開始に向けた**最終準備** ⇒ **ガイダンス動画作成**および**サポート体制強化**など

2020年春学期(4/17~8/07)は全学オンライン授業が実施されました。NUCTの利用率は、2019年度は**40%弱**だったのに対し、**83%以上**に急増しました。教職員および学生が一丸となり協力し合うことで、フルオンライン授業を実現することができました。現在は、**オンライン学習履歴を活用した学習活動分析**に取り組んでいます。

学習履歴の一例:

NUCTサーバアクセス数

- ・ 土日祝日
≒ 平日の50%程度
- ・ 平日授業時間内
≒ 平日授業時間外
- ・ 土日祝日



詳細は一般発表 FC2-5 「名古屋大学におけるオンライン授業支援サービスの運用」
FC2 教育学習支援システム (LMS) 12/11 (金) 10:50~12:20 にて発表

テレワークにおけるICT支援

●テレワークサバイバルガイドの策定

2020年4月から名古屋大学においても急遽、テレワークの導入が決定したことに伴い、教職員のテレワーク実施手順をまとめた「テレワークサバイバルガイド」を作成しました。出張等で外部に機器を持ち出す機会も多い教員(研究職)に比べ、基本的には大学にて業務を実施する事務職員のテレワーク導入のサポートのため、多くの図を含めたわかりやすい資料となっています。本ガイドでは、

- ・セキュリティに関する基本的な事項
- ・テレワーク実施時の注意点
- ・具体的な実施方法
- ・環境ごとの違いによる注意点

など、セキュリティ面からもしっかりとサポートし、テレワーク実施によるセキュリティインシデントのリスク低減に役立っています。また、教職員のみならず、多くの声を反映しながら、アップデートを実施しています。

●事務VLAN直結VPNの臨時稼働

事務職員のテレワーク推進に伴い、事務VLAN管理者が指定した事務職員に対して事務VLAN直結VPNを利用可能とするシステムの稼働を開始しました。これは、Secure-NICE(S-NICE)による研究室LANのプライベートIPアドレス化と、各プライベートIPアドレスVLANへのVPN接続サービスを実現するために開発していたシステムを応用して、臨時に稼働したのになります。VLAN管理者が当人のセキュリティ等を確認した上で、本VPNを設定します。

名古屋大学テレワーク 実践サバイバルガイド

名古屋大学情報連携推進本部
名古屋大学情報基盤センター
2020/4/9版 ver1.1b

テレワークサバイバルガイド表紙

